

総合教育センターだより

平成13年3月15日発行 第80号

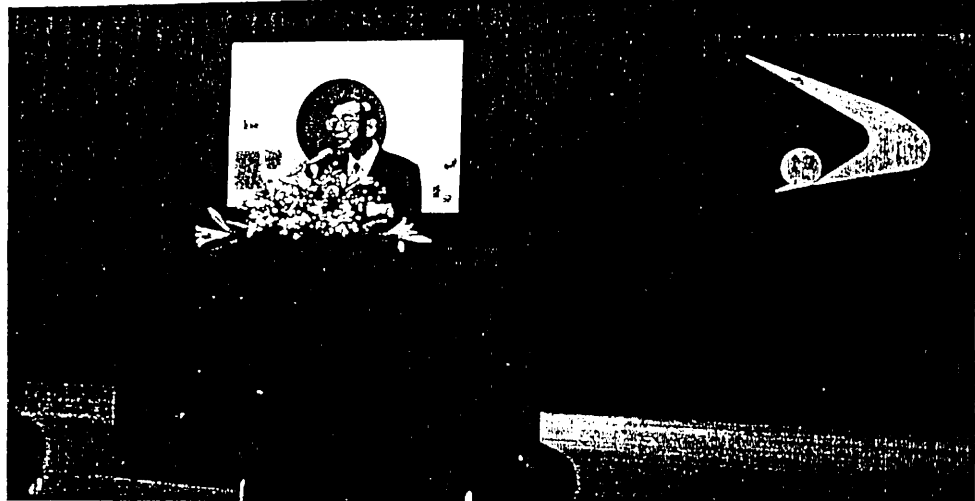
秋田県総合教育センター

〒010-0101
南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76
TEL 018(873)7200(代表)
FAX 018(873)7201
ホームページアドレス
<http://www.edu-c.pref.akita.jp/>
すこやか電話相談 018(873)7206
0120-377-804 (7/11-9/11)
インターネット接続 018(872)1065
学習指導案
レファレンスサービス 018(873)7210(FAX)
パソコン通信 018(873)7207

目次

- ・ 第15回秋田県
教育研究発表会を終えて… 1
- ・ 教育研究発表会の感想 …… 2
- ・ 一年間の研修を終えるに当たって… 3
- ・ 次年度の研修講座紹介 …… 4
- ・ ユーザー登録の更新について
「花まるっ教育ネットkna」… 4

平成12年度 秋田県教育研究奨励賞 第15回 秋田県教育研究発表会



教育研究発表会であいさつする谷口所長

第15回秋田県教育研究発表会を終えて

次長 小玉 孝一

第15回秋田県教育研究発表会が2月8日(木)、9日(金)の両日にわたり開催された。

今回の最大の特徴は、岩手県立総合教育センター、青森県総合学校教育センターと連携し、北東北の教育研究の活性化と教育レベルの向上を図ることを目的に、教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)を用いた交流が行われたことである。

開会行事のあと、秋田県の研究発表が配信され、三県の関係者が熱心に聞き入る姿を画面で見ながら活発な質疑応答が行われた。これは全国でも初めての試みであり、教育研究についての評価が全国から得られることなど意義は大きいものと思われる。

今年度は、研究発表が秋田県教育研究奨励賞受賞の5本を含め105本、参加者は述べ1283名であり、いずれも過去最高の数であった。学習指導要領の移行措置や教育改革のまっただ中にあることなどから、県内教職員の問題意識の高さをうかがわせるものである。研究の成果を各学校において、十分活用されることを期待したい。

第2日目は、奥羽大学教授アントン ウィッキー氏により「びっくりニッポン」と題した記念講演が行われ、ユーモアあふれる中に「ことば・こころ・表情」など、授業にすぐ生かせることがらを熱っぽく語られ、深い感銘を与えられた。



教育研究発表会の感想

1日目

教職研修部研究発表を拝聴して

能代市立能代第二中学校 教諭 谷内 直毅

教育目標の具現化に向けて行われてきた様々な校内研究が、総合的な学習の時間を核に有機的に結び付くと思えた。また構想段階で、道徳の時間や特別活動、選択教科等の教育活動全体を根本から見直すことは、学校の活性化につながると感じた。完全実施に向けて参考となった。

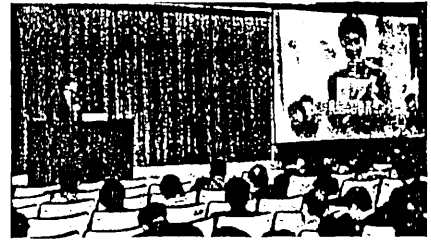
教科研修部研究発表を聴いて

サイエンスショーの協同研究を

秋田県立子ども博物館 学芸主事 佐藤 和広

現在、全国の科学館では、サイエンスショーの研究が進められている。科学する心を育むためにその中核となっているのは、遊びやゲームである。

研究発表を聴き、授業に遊びやゲームを取り入れる時、サイエンスショーが参考になると感じた。教員と学芸主事との協同研究も意義があると思われる。



「知的障害児学級における読む力の定着を支援する学習ソフトウェアの作成」を聴いて

秋田県立能代工業高等学校 教諭 安保 邦将

発表を聴いて、コンピュータを1つの道具として効果的に利用できているソフトウェアであると感じた。教師と生徒の間にコンピュータがうまく入り込み、生徒が意欲的に取り組めるように配慮されていた。自分の授業にも応用できる部分がたくさんあり、非常に参考になる発表であった。

D会場の発表を聴いて

秋田県立秋田養護学校 教諭 伊藤タエ子

社会参加に必要な「生きる力」の指導ということで、研修員の佐々木さん、池田さんはそれぞれ自力登校・バス利用の指導を、パソコン利用での繰り返し練習や本人・保護者の願い等を大切にされた取り組みの発表で、スモールステップや保護者との連携を密にした指導の大切さを痛感した。

2日目

真に学ぶ姿が、心ほぐしの体育学習

太田町立太田中学校 教諭 小西 祥子

「遊びの活動に見る心のほぐしとは～遊具、豆袋を使つての指導実践を通して～」という発表を聴いた。体づくりへの期待が大きい中で、特に心ほぐしへの関心が高い。真に遊ぶ姿こそ心ほぐしができた状態であり、心と体が一体化した望ましい学習状況であると、豆袋の指導実践に共感を覚えた。

心の扉を開けてくれる研究発表会

秋田県立比内養護学校かつの分校 教諭 糸屋 賢

私自身発表は今回2回目ということで心地よい緊張感で望むことができました。2日目は心身症の生徒が取り組む総合的な学習の時間についての発表を聴き、授業実践の様子から総合的な学習について具体的に知ることができ自校の研究にさわやかな風を送ってくれるおみやげになりました。

講演の感想

国際理解のはじまり

湯沢市立三関小学校 教諭 村山美穂子

英語を何年勉強しても、話せない日本人。英語を話すには言葉・心・表情の3つが大切と言われていた。しかも、この3つは英語を話すばかりではなく、人と人が相手を理解するために必要なことだと思う。その相手が外国の人でも、日本人でも。国際理解はそこからはじまると思った。

「ウイッキーさん」のお話を聴いて

秋田県立秋田西高等学校 教諭 高橋 健

ウイッキーさんの記念講演を楽しく聴かせていただきました。講演の中では、ユーモアを交えながら、日本で使われている英語の間違いや、外国語を学ぶ際の注意点などの興味深い話をしてられました。次の講演の機会には、是非とも秋田のお酒の話などもお聴きしたいと思います。



一年間の研修を終えるに当たって

一年を振り返って

研修員 櫻田 由夏

この一年を成果と課題でまとめてみます。

成果としては、第一に自分の研究をやり遂げることができたことです。先が見えず、学ぶことの苦しさばかり感じていましたが、見通しがもてるようになったことで、自信につながりました。

第二に、たくさんの情報の中から、自分に必要なものを取捨選択することができるようになりました。C講座の受講や自主企画研修などを通して学ぶことの楽しさを感じることができました。

第三に、様々な校種の先生方と出会い、交流を深めることができました。たくさんの方にこの一年を支えていただきました。ありがとうございます。

今後の課題は、研修員として学んだことをいかに学校現場で生かしていくかということです。これからも学びの姿勢をもち続けたいと思います。

すばらしい出会いと研修の機会を与えていただいたことに心から感謝いたします。

得ることの多い研修員生活

研修員 佐藤美千子

教育課程が大きく変わろうとしている時期に、一年間の貴重な研修の機会をいただきました。

社会環境の変化により、人とのかかわりの希薄さが指摘されています。この状況を教科体育の中で改善してみようと考えました。そのために、子供が運動することと友達とかかわることの楽しさを体感できる授業の構築に取り組んでみました。恵まれた人的環境の中で、じっくりと時間をかけて追究することができました。実践的な研究を進める上で、所属校の温かい励ましやご理解は、大きな支えとなりました。

また、教育センターの講座や著名な外部講師による講演の機会にも恵まれ、多面的に研修できたのも有意義でした。さらに、全県各地の他校種の先生方との出会いも、独りよがりになりがちな自分の視野を広げる貴重な機会となりました。

一年間で得たことを、今後も子供との日々の実践に生かし、自己研鑽に努めようと思います。

研修の機会に恵まれて

研修員 池田 修

授業や校務分掌から離れ、一年間自分の課題に向けて、じっくり取り組むことができるという機会を与えられながらも、4月当初、課題の選定に迷いました。そして、所属校で自分がやり残した「自力通学に向けた取り組み」を、研究テーマに設定しました。

文献を紐解き、インターネットで情報を探り、そして時間をフルに活用し積極的に外に出て、歩いたり、電車に乗ったりしてみると、普段気づかない歩道の状況や通学電車の状況、子供たちの通学する姿が見えてきました。それらを糸口に、通学のあり方、課題等を探っていきました。本当の意味での検証はこれからです。学校に戻って、ここで探り得たことを惜しみなく発揮したいと思います。

最後に、今まであまり関わらなかったエンカウンターやパソコン等の講座を受講し、研修できたことも力となりました。

研修を振り返って

研修員 野呂田忠美

平成11年度に特殊学級担任をしているときから「読むこと」について、生徒が自学自習できる方法がないものかと考えていました。このたびの研究では、音声認識・音声合成機能を用いたソフトウェアの作成とそれを活用した授業の機会に恵まれました。このソフトウェアはまだまだ改良の余地がありますので、より幅広い用途となるように工夫していきたいと思っています。

私は、Visual Basicの修得と、その活用に多くの時間を割きましたが、C講座や情報教育研修部の他の研修員が取り組んでいる研究内容から、情報通信ネットワークの活用方法や情報モラルなど多くのことを学ぶことができ、人一倍の収穫になったと感じています。学校では、情報機器の管理や私の専門である技術・家庭科の教材づくりに役立てて行きたいと考えています。

最後に、貴重な研修の機会を与えていただいたことに感謝いたします。

平成13年度の研修講座紹介と公開講演の案内

平成13年度の研修講座は、平成12年3月に改訂された「秋田県教職員研修体系」に基づき、教職員それぞれのライフステージに応じて適切な時期に必要な研修が受けられるようにするとともに、各学校や教職員のニーズにも配慮して編成しました。

新学習指導要領の改訂の趣旨及び内容等を踏まえ、国や県の教育課題並びに新教育課程への移行期における諸問題にも応え得るよう、講座内容の改善と充実に努めております。特に、悉皆研修である経験年次別研修講座においては、当該年次の教員に求められる資質や能力の育成が図れるよう、当センターでの研修と所属校での研修との結び付きを一層密にしました。また、実践的指導力の充実に努めるため、受講者自身の主体的な活動を重視しました。

次に、平成13年度に開設される研修講座の中からいくつかを紹介いたします。

- ① 管理職を対象とした「学校の経営展望と危機管理」を設定し、地域に密着した経営ビジョン、学校危機管理の在り方、男女共同参画社会における学校経営などについて取り上げます。
- ② 和楽器の理論・実技、指導方法に関する研修講座をC講座からB講座に変更します。
- ③ 「新しい時代を拓く情報教育」では、各学校で情報教育の中核を担う教員に必要な専門的内容を取り上げます。
- ④ 「生徒指導（実践）」では、生徒指導の危機管理と事故の未然防止のための方策と指導の在り方を取り上げます。

※【公開講演】について

当該研修講座の受講対象者以外の教職員や県民の方々にも聴講していただけます。

5月25日（金）13：30～15：00	「科学する心をはぐくむ」	高度技術研究所所長 大内 一弘
5月30日（水）13：30～15：00	「ネットワーク社会と情報モラル教育」	広島大学教授 越智 貢
6月8日（金）13：30～15：00	「カウンセリングマインドを生かした生徒指導」	東洋大学教授 伊藤 隆二
6月20日（水）13：30～15：00	「脳をはぐくむ」	脳血管研究センター 放射線科科長 畑澤 順
11月6日（火）13：30～15：00	「ふるさとの史跡をよむ」	県立博物館館長 富樫 泰時
11月13日（火）14：30～16：00	「心豊かに生きる」	宗泉寺住職 長谷川恵光

「花まるっ教育ネットkna」を利用しているユーザ（学校・教職員）の登録更新についてのお知らせ

これまで当センターに接続し、引き続き「花まるっ教育ネットkna」を利用される場合は、1年に1回、年度初め（4月1日から4月30日の期間）に電子メールによるユーザ登録の更新手続きを行っていただくことにしています。（「活用マニュアル」参照…平成10年4月配布済）

手続きは、情報通信knaコムNo.23（3月発行）でもお知らせしていますように、当センターから各ユーザ宛に送信している電子メール、「ユーザ登録の更新について（連絡）」に従って返信することで完了します。

以前にIDを取得したまま、現在まだ更新手続きをしていない学校や個人の方がおります。継続希望の場合、当センターでは、電話連絡による対応を続けていますので、申し出てください。

その際、「学校と個人の別」「ID（ユーザ名）」をお知らせください。

なお、新規の申請及びID等の紛失の場合は、新たに「ダイヤルアップ接続申請書」（「活用マニュアル」参照～当センターページの「kna活用情報」のコーナーにも掲載）を提出していただくこととなります。

秋田県総合教育センター
情報教育研修部
TEL 018-873-7204

※「花まるっ教育ネットkna」の利用に当たっては、パスワードの管理に十分気を付けるようお願いします。
ホームページのURL…………… <http://www.akita-c.ed.jp>（平成13年4月より）

注 このお知らせは、情報通信knaコムNo.22に掲載したものを再編集したものです。